



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.127 2010.7.22

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

石神井川の堤防低かった 5日の水害、対策を怠った首都高株式会社



7月5日、東京を襲った集中豪雨で、北区では堀船・豊島地域を中心に、530世帯を超える床上・床下浸水の被害を受けました。

日本共産党北区議員団と、そのねはじめ前都議は19日、大量の水が溢れ出た石神井川の護岸調査をおこない、はんならした地点の堤防が他の地点に比べ、かさが低く安全対策に問題があった事実を明らかにしました。

▲大量の水があふれ出し、たばこ産業倉庫や京北倉庫を水びたしにした石神井川護岸。白い土のうは、水害のあとに置かれたもの。この部分の約70メートルが未整備のままで、他の地点より20センチ以上も堤防が低いままだった。

水害の被害を受けた堀船地域



今回の溢水箇所は、5年前の大雨で仮設護岸が決壊して大きな被害が出た場所のすぐ下流の地点。王子駅南口から隅田川へと向かう護岸が5・8段から7段に整備されているのに対し、この部分の堤防の高さは未整備のまま5・6段しかありませんでした。

5年前の水害は、同地域で工事をおこなっている首都高道路株式会社の方々が、住民への補償問題に発展しました。今回

も、安全対策を怠ってきた首都高の責任は免れません。

20日に開かれた北区防災対策特別委員会で、のの山けん区議は「今回の溢水箇所は、首都高による水流実験でも、5年前の水害でも、一番危険な場所だということとはわかっていたはず。区として、護岸の整備が遅れていた事実を首都高や東京都に対して厳しく追及すべきだ」と迫りました。区側は「原因の調査や抜本的対策を考えなければいけない」などと答えました。

北社保病院の存続を

「地域医療機能推進機構法案」臨時国会で成立を

「東京北社会保険病院の拡充をもとめ、地域医療をよくする会」が街頭宣伝

7月18日午後、赤羽駅西口で「東京北社会保険病院の拡充をもとめ、地域医療をよくする会」が、北社保病院の存続・拡充を求め街頭署名宣伝行動をおこないました。

現在、同病院を含む全国の社会保険病院、厚生年金病院を保有している整理機構（RFO）は、今年の9月30日で解散することになっていきます。10月以降も病院を今の形で運営させるためには、これらの施設などを公的に存続するための「独立行政法人地域医療機能推進機構法案」を国会で成立させる必要があります。ところが、衆議院を通過し、参議院に審議が回された状態のまま6月16日に国会が閉会、同法案は廃案となってしまいました。参院選を経て、この先臨時国会が開かれますが、9月末までに同法案を成立させなければ、病院も患者も職員

「拡充させる会」とともに街頭で訴える、のの山区議（右）

7月18日 赤羽駅西口



も「宙ぶらりん」の状態になってしまいます。一刻も早く法案の成立が求められます。

6月の北区議会第2回定例会で北社保病院の存続を国に強くはたらきかけるよう求めた、のの山けん区議も「拡充させる会」の会員のみなさんとともに駅頭に立ち、「臨時国会をすぐに開き『受け皿法案』の成立」と訴えました。

創立
88周年

日本共産党 記念講演会

とき 8月3日(火) 午後6:30開会
(6:00開場)

ところ 日比谷公会堂

志位和夫 委員長が
お話します

主催●日本共産党中央委員会 ☎3403-6111

